

せい ろう まち
せ 聖籠町
議会だより

VOL.
109
平成27年1月23日発行



無病息災を願って
(網代浜集落)

新年のあいさつ
7人が一般質問
委員会報告

2ページ

10~17ページ

18・19ページ

12月定例会

平成26年第4回定例会は12月9日から15日までの7日間の会期で開かれました。町長からの行政報告のほか、専決処分の承認、聖籠町児童クラブ条例の一部改正、一般会計補正予算など、9議案を慎重に審議し、全て可決しました。

また、固定資産評価審査委員の選任、人権擁護委員の推薦も原案通り適任と認めました。一般質問では、7人の議員が農業政策、行政サービス、教育、福祉など町政全般について、2日間にわたり問いただしました。

衆議院総選挙にかかる費用



▲厳寒での選挙戦

12月2日公示、14日に投票された衆議院議員総選挙の予算が12月議会での議決には間に合いませんでしたので、専決処分されました。

主な質疑
開票終了12時過ぎたのか
〔五十嵐利栄議員〕開票終了に時間がかかり、12時を過ぎたと聞いた。予算は大丈夫なのか。期日前投票において、期日前にする理由をしつこく聞か

れた高齢者が憤っている。12時は過ぎていない
〔選挙管理委員会書記長〕開票終了時間は12時を過ぎていない。予算の中で対応できた。期日前投票の理由を聞くことについては、しつこく聞いていない。確認の意味であった。

声のトーンは反省点
〔選挙管理委員会書記長〕二重投票の予防策として、改善した事は、入場券に

振り仮名、年齢表示、本人確認の声かけであった。声かけは他の自治体でも行っている。声のトーンについては、反省点として、

た。

声の大きい名前確認
〔小川益一郎議員〕前回、起こった二重投票を予防するため、今回から名前確認をしたが、声が大きかったという町民の声があった。どう指導しているのか。

主な質疑
利用者増に対応できるか
〔五十嵐利栄議員〕新設された蓮野児童クラブの定数は何人か。対象児童が拡大されれば今後、利用者が増える。施策はあるか。他の二つの小学校に

蓮野児童クラブが大字蓮野1510番地に建設されました。今までの場所が蓮野小学校内でしたので、実施場所を改めました。児童クラブに申し込める対象範囲も「昼間保護者等のいない家庭の小学校低学年児童」から「昼間保護者等のいない家庭の小学校就学児童」に拡大されます。

た。

おいても同じである。二つの小学校の現状をどう把握しているか。
〔子ども教育課長〕利用者が拡大されることを踏まえ、アンケート調査をした。結果は、新設される蓮野児童クラブは定数80人で利用予定者は現在53人。山倉児童クラブは定数40人で35人。亀代児童クラブは定数40人で34人であった。

平成27年度は対応できる



▲4月1日オープン予定の蓮野児童クラブ

固定資産評価審査委員に 渡邊幸明さん(再任)



わたなべ こうめい
渡邊 幸明さん
(網代浜)
固定資産評価審査委員の渡邊幸明さんが、平成26年12月31日に任期満了となることから、引き続き選任することを賛成10、反対2で同意しました。

主な質疑

公正な判断できるか
〔小川益一郎議員〕人物に不届があるわけではない。しかし、総務省の見解として法的に違反ではないが、集落区長をしている人が固定資産評価審査委員は好ましくないというところがある。

これまでの実績を期待
〔町長〕町と集落区長は特別な関係ではない。しかし、地域に精通していると認識している。これまでの実績と経験を生かしてもらうことを期待している。

人権擁護委員に 佐久間千都さん(新任)



さくま ちづ
佐久間千都さん
(蓮湯)

人権擁護委員の吉井美穂さんが平成27年3月31日で任期満了になることから、後任に佐久間千都さんが推薦され、全会一致で適任と認めました。

人権擁護委員に 齋藤常雄さん(再任)



さいとう つねお
齋藤常雄さん
(網代浜)

人権擁護委員の齋藤常雄さんが平成27年3月31日に任期満了となることから、引き続き推薦され、全会一致で適任と認めました。

養護老人ホーム入所委託料を承認

一般会計補正予算

歳入	
■ 児童手当負担金 (国庫・県費)	591万円
■ 介護給付費等負担金 (国庫・県費)	1126万円
歳出	
■ 養護老人ホーム入所委託料	548万円
■ 児童手当扶助費	648万円
■ 介護給付費等扶助費	2065万円

平成26年度一般会計補正予算は、既定予算に歳入歳出それぞれ1208万円を追加し、総額71億3078万円(前年同期79億6633万円)と定める予算を全会一致で可決しました。

主な質疑は、小・中学生の海外交流事業参加者の大幅マインナスについて、平成27年4月1日スタート予定の環境美化NPO法人事業、旧役場跡地地化事業などについて行われました。

主な質疑

何人以上で実施か

中村恵美子議員 今年度の海外交流事業は、小学生が20人に対し8人、中学生は10人に対し5人と、共に大幅な減少となった。何人以上なら交流事業を実施する予定か。

5人以上は必要

総務課長 現地での行事を考えれば、最低5人以上は必要と考えている。

なぜ大幅減になったか

五十嵐利栄議員 小・中学生の交流ともに計画より半分以下になった原因を所管は、どう分析しているか。



▲新たな角度で検討する海外研修

部活動や塾通いが影響

総務課長 部活動や、塾へ通う子どもが増加していることや、この事業が隔年のため、理解が得られない点もある。

子ども教育課長 小学校には、再募集も行ったが増えなかった。

今まで通り行うのか

中村恵美子議員 このような状況で海外研修は今まで通り実施するのか。

検討委員会の答申を得る予定

町長 海外研修はマンネリ化している面もあり、検討委員会に、今後の在り方を検討してもらっている。方針を明確にして、検討委員会の答申に基づいて実施する。

環境美化法人いつからか

宮沢光子議員 環境美化法人はいつからスタートするのか。

平成27年4月1日スタートする

ふるさと整備課長 現在、なごみの家で準備室を置いているが、平成27年4

委託すると金の流れ不透明

月1日にNPO法人としてスタートする予定である。

宮沢光子議員 生ごみ事業を環境美化法人に委託する計画と聞いているが、NPO法人に委託すると町の予算の中身が分からなくなると、議会の中で、

予算段階で十分説明する

町長 委託の範囲は当初予算の段階で提案するので、議論をお願いする。また民間的発想で、費用対効果も図ってもらう。

旧役場跡地地化事業どこまで進んでいるか

小川益一郎議員 旧役場跡地地化事業の工期、売り出し時期、面積当たりの単価はどう設定しているか。

工期は3月下旬まで予定

ふるさと整備課長 現在、旧下水道撤去作業進行中、その後盛土予定。土地改良建設は基礎工事完了した。工期は3月26日ごろの予定。

販売価格は未定

総務課長 販売は造成が進んで、姿が見える2〜3月の町広報に募集を募る予定。販売単価は現在検討中。



▲環境美化法人の本部事務所予定地(結いハート内)



▲進む山大夫宅地造成

みなさんの 請願・陳情

第4回定例会では、地域住民より直接の声となる請願2件を審査し、1件を全会一致で採択、1件を賛成少数で不採択としました。

採択した請願

◎蓮野若沼線の歩道付き道路拡幅整備に関する請願書

〔提出者〕 別條区長 本間和人 外2名
〔紹介議員〕 桜井 怜・田中 智之



▲採択された請願道路

不採択となった請願

◎消費税の10%への増税は「延期」でなく、きっぱり中止することを求める意見書の提出を求める請願

〔提出者〕 消費税をなくす新潟の会 代表世話人 阿部 邦昭 外1名
〔紹介議員〕 五十嵐 利栄・中村 恵美子

反対討論 田中 智之議員

国の借金は、1千兆円を突破し財政再建が待たなしの状況である。財政再建を実現し、安定した社会保障を享受するためには、現時点では消費税増税がもっとも現実的かつ効果的だ。2017年4月の増税は、われわれの世代で実行しなければならぬ。以上の点から原案には反対である。

賛成討論 五十嵐 利栄議員

政府は、今回景気回復が追い付いていないので10%にすることを18カ月延長した。このことは、誰もが評価している。しかし、次の消費税アップは、景気動向に関係なくアップするという考えは、整合性がなく、乱暴すぎる。以上のことから原案に賛成する。

賛成討論 中村 恵美子議員

消費税8%実施は、国民総生産の2期連続マイナスになり、家計消費の低迷や、実質賃金の減少をもたらした。国民の半数以上が増税には反対である。消費税10%に対してきっぱりと中止することに賛成である。

採決 賛成5、反対7で不採択

第2回 臨時議会

平成26年第2回臨時議会が11月21日、1日間の会期で開催されました。1719万円を追加し、予算の総額を71億905万円と定める一般会計補正予算案、物品購入契約の締結議案（内視鏡システム一式購入）など7議案が上程されました。いずれも慎重審議し、原案どおり全会一致で可決しました。一般会計補正予算の主な歳出は、職員等人件費（人事院勧告分）および通学バス運行業務委託料の不足分の補正予算です。

主な質疑

給料改定何年ぶりか

〔五十嵐利栄議員〕 久しぶりに給料が改定されることで、これが決まれば職員もほっとすると思うが、改定は何年ぶりか。今説明で昇給ついて若年層に傾斜配分するとい

う話があったが、具体的には何歳以下の若年層に傾斜配分したか、具体的な年齢基準が分かっていたら聞きたい。

また給料表の件だが、例えば2級の給料表は125号まで3級も113号までであるが、聖籠町でここまで滞留年数が多い人はいるのか。一定の昇格基準があると思うが、昇格基準をオーバーしている職員がいるかどうか昇格基準の実態を聞きたい。

改定後7年ぶり

〔総務課長〕 若い人の傾斜配分については、初任給で2千円上がる形になっている。

それに伴い若年層についても同じように上がる。また高齢層については引き上げがないか、かなり少ない状況である。給料表の関係だが、国が示した給料表であり、職員も平成28年度からなるのではないかと思われる。人事評価それらによって昇格が優秀な人は早くなっていくということからすると、この表の所まではいくのではと考えられる。給料表の改定だが、平成19年の改定後7年ぶりということになる。

大卒・高卒何級の何号か

〔小川益一郎議員〕 まず初任給の大卒高卒格付けというのは、何級の何号からなるのか教えてほしい。

高卒は1級の5号 大卒は25号から

〔総務課長〕 高校卒業の初任給については、1級の5号、14万2100円である。大卒については、25号の17万4200円である。



▲導入されたハイテク内視鏡システム（診療所）



五十嵐 利栄議員

農家は危機が大変だ

町長 国の動き見て対応する

問 米価の暴落と、JAの仮渡金大幅ダウンで、町内農家の生産額を前年対比でのマイナスをどう試算しているか。

また戸別所得補償が1万5千円から7500円に半減されたことによる、マイナス金額をどう試算しているか。

すでに県内でも、幾つかの自治体が独自の補助制度を打ち出している。町独自で水田農業への補助制度を確立していることは理解できる。しかし、今年は農家にとって、正に危機的状況を踏まえて、現行6〜7千万円の補助金を、以前実績のある、1億2千万〜1億3千万円くらいまでアップ



▲農業法人施設は農家の活動拠点

できないか。

一方燃料費の高騰で、施設農家も悲鳴を上げている。今後の価格推移にもよるが、高値が続いた場合、対応策を検討できないか。

TPP交渉は表面的には進行はストップしているようだが、アメリカが狙っている食肉と米に対する強い姿勢は変わっていない。今からでも交渉撤退すべきと考える。

町長 米の仮渡し段階で、前年対比マイナス18%、金額で10アル当たり、2万4500円の減収である。戸別所得補償は前年の2分の1で4440万円の減となる。

加工用米交付金やナラシ対策はあるが、厳しい状況に変わりはない。町は独自に補助しているが、今後国や県の動向を見ながら、対応策を検討する。

介護保険料 いくら上がるか

町長 約1320円アップ見込み

問 平成27年4月から第6次介護保険料がスタートする。現行5680円に対し、どの程度アップの見込みか。アップした場合、アップ分についても、町として応援手当てで対応していく考えに変わりはあるか。

町長 介護保険第6期の保険料は約1320円アップの7千円程度と見ている。応援手当ては、これまでの考えを踏襲する。心友会個人負担金164人に対し、平成27年1月末に支払う予定。

心友会不正請求の個人負担分、934万円は一括返還されたか。



一般質問 町政を問う

7議員が質問

- 12月議会では、7議員から町政を問う一般質問がありました。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、2月末に町ホームページに掲載される予定です。
- 一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、町長等に疑問点をたずねるものです。

五十嵐 利栄 議員

P11

- 1 農家は危機が大変だ 介護保険料いくら上がるか

宮沢 光子 議員

P12

- 1 導入するの「ゆびナビシステム」
- 2 民間委託でどう変わる

田中 智之 議員

P13

- 1 土曜授業の実施を
- 2 交通安全対策の充実を

中村 恵美子 議員

P14

- 1 消費税増税中止を
- 2 新総合事業の移行は
- 3 給食費の無償化を

小川 益一郎 議員

P15

- 1 町長の「政治とカネ」問題真意は
- 2 アベノミクス解散どう思う
- 3 町職員の労務管理適切か

堀 常正 議員

P16

- 1 農業拠点施設建設を
- 2 にぎわい館有効利用を

青木 順 議員

P17

- 1 空き家の利活用に挑め
- 2 どうする生ごみ収集

燃料費価格の推移を見て、施設農家への対応策を検討する。

TPP交渉反対の立場は変わらない。国の動向を見て反対行動も起こしていく。



宮沢 光子議員

導入するのか「ゆびナビシステム」

町長 検討したが時期尚早

問 先の9月議会において、職員の窓口対応の向上策の一つとして、会津若松市が取り入れた「タッチパネル受付サービス」を検討しているという答弁があった。会津若松市が導入した要因は調査し理解できた。聖籠町に「ゆびナビシステム」を導入するのか。導入する理由と意義、効果をどう考えている。

町長 町職員において、過去の体制を見ると大半が町の出身者で町内に在住していた。しかし、今現在では時代の流れか町外出身者や町外在住者が多くなり、町職員が身近に感じられなくなったという町民の声を多く聞く。地域に精通し住民に身

一口メモ
※ゆびナビシステムとは
取得したい証明書の申請を職員がタブレット端末に入力後、申請者が指で署名するだけで証明書を発行する。

近な職員育成をどう考えているか。

町長 タッチパネル受付サービスの内容は、高齢者や障がい者等で申請書を記入することが困難な人に対し、職員が寄り添い、タブレット端末を指で操作して申請書を作成するものである。

当町と会津若松市は人口規模が違う。当町ではサービスの対象者が1日2、3人程度である。費用対効果等の観点から現段階での導入は時期尚早という結論を出した。

職員については、確かに町外からの職員も多くなった。職員の意識改革を図り、住民ニーズを的確に捉え、質の高い行政サービスができるように人材育成基本方針を定めている。

民間委託でどう変わる

町長 サロンの運営も民間委託

問 来年4月から聖籠子ども園の運営が民間委託になる。委託先は社会福祉法人真心福祉会に決定した。聖籠子ども園の空き保育室を「すくすくサロン」等の部屋として地域住民が利用できたが、民営化になることでどうなるのか。

スムーズに民間に移行

するための計画をどのように考えているか。

聖籠町家庭・地域教育審議会の答申は町の教育に生かされているか。子どもたちの学力向上の前に家庭・地域の教育力向上が大事である。

町長 「すくすくサロン」等の事業は保育業務と同様に法人に業務委託する。子ども家庭相談センターは子ども教育課に置く。

教育長 円滑な引き継ぎのために両方で引き継ぎ保育をする。子ども教育課として福祉と教育が一体となる仕組みを考える。



▲民営化になっても子育て支援の継続を

土曜授業の実施を

教育長 検討を始めた

問 小・中学校の学力があと少しで全国平均に到達する。町の総合計画の目標である偏差値48・1は達成しているが、県平均・全国平均の50の壁が、なかなか越えられない。これも本町の特徴だ。

教育長 小学校の基礎学力は中学校での学習の基盤となる。一方、その習得が十分だと中間ギャップに陥る可能性が高くなる。

土曜授業の導入に関しては、過去に質問した際の答弁はあまり前向きで

はなかった。しかし子どもたちの学力向上を取り巻く環境は日々変化している。新発田市も実施の方向だ。ぜひ本町でも土曜日を利した活動で成果を上げ、全国平均をクリアしたいが、どう考える。

教育長 土曜日を利用した活動については、現在実施している放課後学習クラブの検証と合わせて、児童・生徒のニーズ、指導者の確保など考慮した上で検討を始めている。来年度からできるかど

うかや、町・学校・家庭ぶん・地域として何ができる等を考えながら検討中だ。

交通安全対策の充実を

町長 迅速な対応をしている

問 町内の交通事故の発生状況は、11月25日現在で件数・死傷者数ともに昨年より減少している。これは町の交通安全対策の成果といえる。しかし、町内には交通事故の危険性が感じられる道路や交差点が多数存在する。また、交通ルールの徹底を促すのも行政の役目の一つだ。交通事故ゼロの達成を願う、3点質問する。

①交通事故発生は半分以上が交差点内だが、町内には「止まれ」表示や停止線が剥けている道路も多い。交差点には優先的に表示すべきではないか。

②現在警察に信号機を設置を要請している場所は、何力所か。その見直しは。

③中学生の自転車通学にはヘルメットを義務付けるべきではないか。

町長 ①道路の標示権限は県の公安委員会にある。町内の標示が見えない所は、早急に取り組むよう要望書を提出しているが、予算の関係もある。

②4力所要望しているが、新発田警察管内で1年に2基程度の予算配分だ。

教育長 ③中学校統合時にさまざまな意見があった。現在に至っている。しかし、交通事情や保護者の意識も変わっており、子どもたちの安全を守る観点から議論が必要な時期でもある。



田中 智之議員

町内の交通安全対策の成果といえる。しかし、町内には交通事故の危険性が感じられる道路や交差点が多数存在する。また、交通ルールの徹底を促すのも行政の役目の一つだ。交通事故ゼロの達成を願う、3点質問する。



▲急げ道路標識の整備



小川 益一郎議員

問 月刊「財界にいがた」12月号に聖籠町長の政治とカネ・ファミリー企業の不法行為が報道されている。町長はその企業の取締役に名を連ねている。

町長 ①この企業は、本来に利用目的を偽って加治川河川敷の占有使用をしてきたのか。また、加治川河川敷占有願いは、更新の際、占有許可申請に町の意見を付すことになっているが、事実確認をしたのか。

②町長は、ファミリー企業の役員就任で公正な判

断ができないのでないか。公私混同とか企業との癒着ではないかと見られがちである。

町長 ①更新許可申請には、許可する県が町に意見を求めることになっているが、会社、県とも担当者が変わったため、過去の経緯が分からない。県から示された申請内容の確認を怠り、申請者の住所、氏名を確認し、記載した代表印を押印し、県に提出し許可を得たと報告を受けている。

今回、県から会社に対



▲加治川河川敷の周辺

町長の「政治とカネ」問題真意は 町長 しかるべき措置を取る準備中

し変更申請の指示がなされてきているようだ。

②私が役員を務める会社の関係で、公私混同とか、企業との癒着とかは一切ない。

会社が県に申請した。時期についても一切知ら

ない。

町の立場でも意見を求められてきた経緯は一切なかった。

「財界にいがた」に対し憤りを感じ、しかるべき措置を取るよう今準備をしている。

消費税増税中止を

町長 国に中止求める次元でない



中村 恵美子議員

問 地方議会からは、さらなる景気悪化を懸念し、消費税増税は「中止」あるいは「慎重」にとの意見書が多数出されている。

町内でも、住民の生活は大変になっている。国に中止を求めるべきでないか。

町長 消費税増税は国の政策進展であり多様な議論から成り立っている。国に中止を求める次元のものではない。

問 ①新総合事業への移行は、市町村の条例で実施を遅らせ、2017年3月末まで現行の仕組みを継続させることができ。本町も遅らせるべきでないか。

②新総合事業がスタートしても、要介護認定を受けるのは被保険者の権利であり、自治体が妨害することは法令違反である。町は大丈夫か。

③特養入所を要介護3以上にしたところで、介護難民の実態は改善されない。特養の抜本的増設、入所者の追い出し中止、在宅・居宅系サービスを含めた低所得者の利用料の減免、虐待や孤立など処遇困難を救済する措置福祉などが考えられるかどうか。

④第6期介護保険事業策定において、保険料抑制

のために一般会計からの繰り入れを行うべきでないか。

町長 ①新総合事業への移行は、近隣市町村の動向を見ながら、条例により平成28年3月末まで現在のものを継続する。

②要介護認定者がサービスを希望している場合は、従来通り受け付ける。町が妨害することはない。

③新たな施設整備は、行わない。助成事業や利用料の減免は充実している。

④介護保険法により、必要以上に一般会計からの繰り入れを行うことはできない。

新総合事業の移行は

町長 平成28年3月末まで継続

給食費の無償化を

町長 無償化はしない



▲食育は子どもたち成長の源

問 給食費の無償化、2分の1保護者負担を行い、子どもたちに笑顔で給食を食べさせるべきでないか。

町長 就学奨励制度や子育て支援を行っているから、給食費の無償化や2分の1助成は行わない。

アベノミクス解散どう思う

町長 個人的な考え言えない

問 去る11月21日安倍首相は衆議院を解散し総選挙に打って出た。われわれ町民に直接・間接に大きな事象が山積している。

アベノミクスは失敗したのか。また何が失敗何が成功か。

町長 各党が公約を訴えていることに一自治体の長が選挙戦に水を差す、個人的な考えはない。

町職員の労務管理適切か

町長 誠に残念

問 職員のうち心身の故障のための休職者が3人、職務を怠った者が戒告1人、減給1人と町広報に掲載されている。職員は管理監督、指導研修、安

全労務は適切か。

町長 再度服務規律の徹底を図り、健康で働きやすい職場環境づくりをしたい。



青木 順議員

問 国では空き家対策特別措置法が施行され、聖籠町でも平成26年7月1日より空き家等の適正管理に関する条例が制定された。平成24年、区長の協力を得て空き家の件数を調査し、57軒の空き家があった。

全国では820万軒にも及ぶ空き家が存在するとされ、今後も増加傾向にある中、各自治体でもさまざまな取り組みがされている。そこで、今現在町にはどのくらい空き家があるのか。また、相

談や苦情などはなかったのか。空き家相談があった場合どのような対応を想定しているか。

また、可能なものに関しては売り家したり賃家したり、協力しながら対応することで活用につながる。

町長 現在区長からの情報提供により、4軒増え61軒となっている。これらの空き家については、今年度中に条例に該当する空き家かどうか実態調査をし、台帳化を図る予定だ。

また、空き家について所有者からの相談や、周りからの苦情は今のところない。活用方法についてはどんな形で反映できるか、その辺も視野に入れ検討する必要がある。

空き家の利活用に挑め

町長 前向きな検討に値する

農業拠点施設建設を

町長 建設は考えていない

問 新潟市が国家戦略特区に指定された。今後は大規模農業の拠点となり、規制緩和や税制制度の優遇措置を受ける。これからは6次産業化や高付加価値商品の開発支援を提案している。聖籠町にもマイナスの影響もあり得る。

6次産業化に向けた農業支援や食品開発、国道113号線沿いに農業拠点施設などの販売所建設構想が考えられないか。

町長 戦略特区の規制緩和がまだ不透明であり、新潟市の取り組みを注視していく必要がある。

6次産業化の農業支援については、町農産物加工センターを食品開発の中心として位置付け、農家や商品開発の支援を行っている。また販売所は町内に5カ所ある。農産物販売の拠点施設として聖籠地場物産館を考えており、新たな販売所の建設構想は考えていない。



堀 常正議員

にぎわい館有効利用を

町長 憩いの場として運営

問 海のにぎわい館が有効活用されていない。聖籠夏まつり、マリノフェスタなどの夏のイベントには町外者も訪れるが、もっと有効活用できるはずだ。

町長は、ここを拠点として観光漁業の振興を図り、町の特産物の販売に寄与していきたいと述べ

てきた。今後は農業施設や観光漁業のPR看板の設置をしたり、農産物・海産物の直売所となるような施策ができないか。

町長 にぎわい館は海洋レクリエーション活動を通じた地域の活性化、観光の振興を図ることが目的となっている。農産物や海産物の販売は行って

いない。

海水浴に関する事業も徐々に行い、海洋レクリエーション拠点施設として活用していく。たくさんの方が集える憩いの場として施設運営に力を注いでいく。



▲にぎわい館に地産地消の導入を

どうする生ごみ収集

町長 今後も検討を加えていく

問 生ごみが思ったように収集されていないと聞く。やはり目的やメリット、デメリットを町民との共通認識を持って取り組まなければ、今後も伸び悩む。生ごみをバケツに入れる人は、8割9割主婦である。私もたまにやるが、言い方は悪いが面倒に感じ、良い方法がないかと考える。他の自治体の取り組みだが、自



▲資源の有効活用に協力を

然に還る袋を用意し、そこに生ごみを入れ、バケツに投げ入れるようにしている所もある。

目に見えるメリットが少ないという中で、例えば、生ごみの量を各集落で計量し、上位3集落に集落費を出すなどして、町民も楽しく収集できる仕組みを構築してはどうか。

町長 町全体の収集量を計画しているが、平成24年、25年ともに400ト

ン程度に推移し、計画を下回っている。町としてのメリットは、焼却しないことで環境にやさしい町づくりや、燃料の節約や、最終処分場の焼却場の延命化などが挙げられる。

また、より住民に理解してもらえような対策を講じていくのはわれわれの務めである。なお、今後も検討を加えていきたい。

町小学校の現地視察

総務文教



▲蓮野小学校を視察

11月10日、蓮野小学校および山倉小学校の、学校運営の基本方針、校内環境設備の適正等について現地視察調査を行った。

1、蓮野小学校・学校運営の基本方針。

「子ども（家庭・地域）、職員、学校」三方良しの学校づくり等のテーマを掲げ、目標に向かって、環境設備について、一部雨漏りがあるとのこと、経年劣化によるこの報告である。

2、山倉小学校の基本方針。

「学び合う子・進んでかわる子・高め合う子」等、高い目標を掲げて目標に向かっていった。環境設備について、「特別な支援を必要とする子ども」三学区約20人を、受け入れる教室等完備し、おおむね良好である。特別支援学級の対応たり繊細なるご配慮を望むものである。

議会改革先進地を視察

議会運営



▲埼玉県嵐山町議会を視察

10月30日、31日、埼玉県嵐山町および千葉県長生村に、より開かれた議会改革を求め視察調査を行った。

両町村とも住民と直接対話する議会報告会や住民懇談会を開催し、住民がより議会に親しみを持てるような取り組みで少しずつ効果を上げている。

本町にとっても同様の取り組みを取り入れることにより、議会により関心を持ってもらうことは、今後、議会の活性化に欠かせない事と感じた。今後もさらなる議会活性化に向け、住民の意見を大切にし、研究を続け、本議会に適したものを採用できるように検討していく。

こんなことを 研修 報告

あんなことや 調査 委員会

研修と視察で学ぶ

厚生産業

11月14日、新潟市西蒲区のフジタファームおよび本町まごころの里小規模多機能ホーム・特別養護老人ホームを視察した。

6次産業化の道を進めてきたフジタファームは乳製品の加工やチーズ農産品の直売、地元若手農家が栽培する減農薬米の販売など農産物直売所、ジュラート販売店を経営し、チーズ作り酪農体験も受け付けている。

本町での事業は初めての取り組みとなるが地域に密着した事業を展開しており、町民にとっては住み慣れた地域で安心して暮らしていける環境が整ったといえる、大変有意義な視察研修であった。

本町では、通い・宿泊・訪問で組み合わせた介護サービス事業を行っている。



▲フジタファームを視察



▲多くの市町村からの視察受け入れ

全国からの視察を受け入れて

議会広報

本委員会に対し11月18日に福島県下郷町、11月28日には群馬県明和町の広報委員会の皆さんが視察に訪れた。明和町の来訪で、今年度の視察者は9市町村となり、私たちが広報委員も意見交換の中から、多くの事を学ぶことができた。

広報「くらの」苦しみ?」は、地域を問わず、経験を問わず、苦勞話などを聞くことで、より親近感も湧いていく。

そして町民の皆さんに、より良い広報づくりを目指している仲間がいることを確認でき、次の広報づくりに向けての大きな支えとなっている。

より多くの人に読んでもらえる広報を目指して。

☆ 議会を傍聴に きませんか

今回の定例会は、

3月3日(火)開催の予定です。

議会では、どんなことが議論されているのか。どんな計画があり、どう進んでいるのか。あなたに身近なことかもしれないかもしれません。気軽に傍聴においでください。

また、本会議のようすを「エフエムしばた」のラジオ放送とインターネットでも聞くことができます。

都合で議場には来られない方も、ぜひ放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望などをお気軽に私たち議員にお寄せいただければ、と思っています。



★表紙の写真★

「無病息災を願って(網代浜集落)」

1月11日に、1年間の無病息災を願って網代浜集落で行われたさいの神の様です。

発行責任者

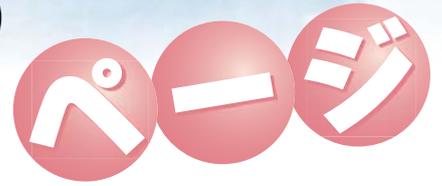
議長 須貝 龍夫

広報対策特別委員会

委員長	五十嵐利栄
副委員長	堀 常正
委員	宮沢 光子
	田村富美男
	田中 智之
	青木 順

みんな

の



聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

サクランボ、ル・レクチェ 大好きなので幸せです



いしだ ともこ
石田 智子 さん
(蓮潟)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？
彼の姉の紹介で知り合いました。

Q 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？
サクランボ畑がたくさんあるなぁと思いました。

果物の町というイメージがあります。サクランボ、ル・レクチェ、大好きなので幸せです。

Q 町での生活はどうか？(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせください)

まだ住み始めて間もないですが、温かい家族に見守られ、いろいろと教えてもらいながら楽しい毎日を過ごしています。

Q 町に望むことはありますか？

今後、安心・安全に楽しい暮らしができるような町であってほしいと思います。

今回は、新発田市出身で平成26年10月に嫁いで来た石田智子(旧姓 古山)さんです。

皆さんよろしくお願ひします。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に役場議会事務局 (TEL0254-27-1967) までご連絡ください。

11月21日衆議院解散、国民の多くが理解に苦しむ一大義なき解散一です。選挙結果は3分の2以上の議席数を自民、公明の2党で確保し、保守党の圧勝となりました。投票率は戦後最低となりました。国民不在の政治が始まるよううで不安を感じます。今後、安倍政権の経済政策「アベノミクス」の成功を確かめるのには述べています。しかし、アベノミクスの波及効果が地方まで浸透しているかはなほ疑問です。消費税増税で景気失速、実質賃金低下となり、中央と地方の格差は広がる一方です。地方創生と言われながら、既に多くの月日が経過しています。アベノミクスの第3の矢である成長戦略の早期実行に期待を強くするばかりです。私たち地方議員にも、今後はより一層の課題と責任が課せられます。住民不在の政治とならぬよう、聖籠力ラーで町民と共に歩みたいと考えております。

議会広報対策特別委員会
副委員長 堀 常正

編集後記